

私が取材！安平町役場の職員に密着

特別編集者 早来学園8年生 小泉 渉



私が取材させていただいたのは、教育委員会事務局社会教育グループの野本貴文さんです。

野本さんは稚内市出身で、教育に関わる仕事を探す中「子どもにやさしいまちづくり」を目指す安平町の方針に惹かれ安平町役場へ入庁しました。

普段は、子どもから大人までの幅広い世代に学習機会を提供する授業やイベントを中心に、業務を行っています。

多くの町民と関わり合う中で見ることでできる「笑顔」や協力して目標を達成する「喜び」がこの仕事のやりがいだと笑顔で語ってくれました。

今回は、そんな野本さんが関わる2つの社会教育事業に密着しました。

高齢者ふれあい大学

まずはじめに、高齢者ふれあい大学です。今回は「お金とライフプラン」をテーマに講座が開催されました。

受講した成田千賀子さんにお話を伺うと「お金のことは友だちと話しづらかったので、このような機会があってありがたい」と話してくれました。



また、野本さんについて「いつも明るく声かけをしてくれる。名前を覚えてくれていて嬉しい」と教えてくれました。



追分小学校授業 点字

次に追分小学校5年生「点字」の授業です。点字器を使って打つ練習をする機会もあり、楽しそうに授業を受けている児童の姿が印象的でした。

野本さんは講師の飛田先生の補助として、プリントや点字器の配布、困っている児童の手助けなどを行います。

今回の授業以外でも野本さんと関わりがある児童たちは「野本さんは面白くて優しい人だよ！」とインタビューの中で教えてくれました。



今回の密着から

小学生から高齢者まで、いろいろな方にインタビューをしましたが、共通して感じたのは「野本さんの信頼の厚さ」でした。野本さんの仕事に対する姿勢や人柄がこの結果に繋がっているのだと私は感じます。取材にご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。